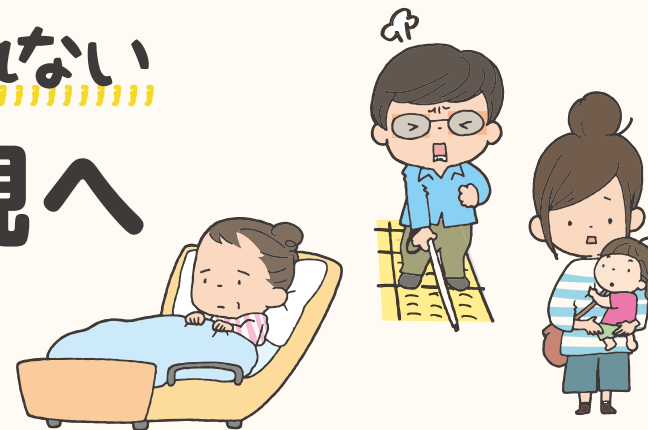


人手不足が深刻に これでは国民の権利が守れない

福祉の賃金アップの實現へ

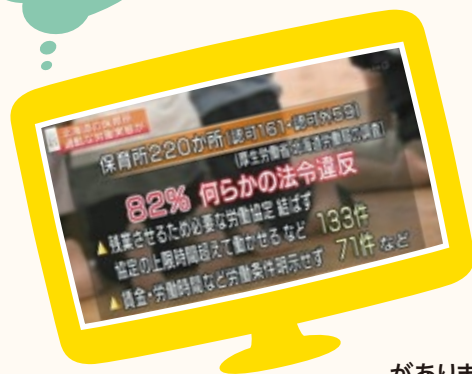
みんなで声をあげよう



子どもたち、高齢者、障害者を支える福祉労働の重要性が高まっています。でも、その担い手が働き続けられない、集まらない事態が深刻に…。マスコミも、国会も、世論も求めるようになった今、大幅な改善が必要です！

やりがいはあるのに…

福祉職場はブラック?!

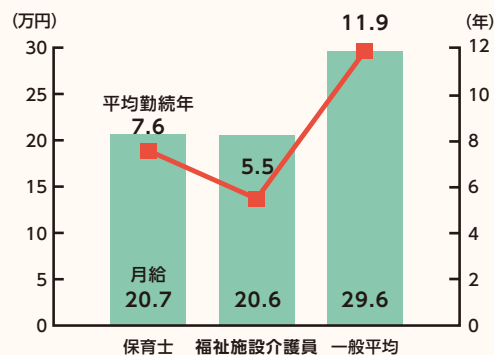


北海道労働局が保育所220か所に対して立ち入り調査をおこなったところ、82%に労働基準法など何らかの法令違反が発覚。このニュースはNHKニュースウオッチ9（2014/1/27）でも大きく報道され、不払い残業などが横行している実態があらためて浮き彫りに。キャスターは「背景には保育所だけでは解決できない構造的な問題があります」とコメントしました。

大阪や埼玉、神奈川などの労働局も介護事業所を重点指導の対象とするなど、福祉職場全般が「ブラック化」している状況が深刻になっています。福祉保育労がおこなったセルフチェックによる200以上の職場調査でも約9割の職場で労働法令違反の疑いがあるなど、国の予算措置が不十分で人手が足りないのです。子どもや高齢者、障害者を支えている担い手への支援が一刻も早く必要です。

福祉職の賃金は一般の7割

一般平均と9万円の格差



(厚生労働省・賃金構造基本統計調査2013年度分より)
*年は勤続年数 *税金などを引く前の所定内賃金（時間外手当などを除く）

やりがいはあっても働き続けられない。資格を取っても福祉の職場に就職しない…。その一番の理由は、賃金が他の職種に比べて低すぎることです。

経験が重要な仕事なのに、年数を重ねるほど他産業との賃金格差が開いていきます。一般の賃上げがすすめば、さらにその格差は大きくなり、人材が集まらなくなります。

高齢者介護の当事者組織「認知症の人と家族の会」も、5月に会として初めて国に提出した「安心できる介護保険制度を求める署名」の要請項目で「利用者負担によらず介護報酬の引き上げを行い、働く人の処遇改善を図る」ことを求めました。待機児童の解消と認可保育園の増設を求める各地の保護者グループも保育士の待遇改善を国に要望しています。

として初めて国に提出した「安心できる介護保険制度を求める署名」の要請項目で「利用者負担によらず介護報酬の引き上げを行い、働く人の処遇改善を図る」ことを求めました。待機児童の解消と認可保育園の増設を求める各地の保護者グループも保育士の待遇改善を国に要望しています。

保護者・利用者もマスコミも一致 国会では法律も成立

問われる政策 本気で福祉現場の処遇改善を!

処遇改善法が全会一致で成立

「来年の4月までに必要な措置を講じる」

人材が確保できない事態が深刻になり、改善を求める運動も広がる中で6月に「介護・障害福祉従事者の処遇改善に関する法律」が議員立法で提出され、全会一致で成立しました。来年の4月1日までに「介護・障害福祉従事者の賃金をはじめとする処遇の改善に資するための施策の在り方についてその財源の確保も含め検討を加え、必要があると認めるときは、その結果に基づいて必要な措置を講じる」というものです。改善策の内容はこれから検討されていきますが、対象は高齢者介護・障害者福祉に限定されています。

障害者福祉も学童保育も児童養護も

障害者福祉職場では休憩も取れずに懸命に介助する状況もあります。学童保育・児童館では、賃金水準はさらに低く、自立できずに辞めていく職員があとをたちません。児童養護施設では、休みなく子どもたちと向き合い、心身ともに疲れ果て孤立する実態が深刻になっています。

すべての福祉労働者を対象に大幅な引き上げを!

改善策が求められているのに、政府がその必要性を認めながらあわせて検討しているのは専門性を切り下げる政策です。外国人の技能実習制度を介護分野に解禁することや、主婦を想定して20時間程度の研修を受ければ小規模保育所などで働けるとする「子育て支援員」制度の導入などはやめるべきです。現場では高い専門性が求められているのに、この方向では国民の人権・発達を守る福祉の本来の役割は果たせません。

憲法25条は、国民の健康で文化的な生活を営む権利（生存権）を国の責任で保障するとしています。その担い手である私たちは、法律の対象になっていない保育所などの職員も含め、すべての福祉労働者に対象を広げたいという大幅な改善を求めています。

民間の社会福祉に働くなかまでつくる福祉保育労は、「福祉は権利」を掲げて、働き続けられるための待遇の改善や保育所や特養ホーム等の基盤整備などを求める「みんなの一步キャンペーン」をすすめています。

全国福祉保育労働組合

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-6-8 サニープレイスビル5F
電話 03(5687)2901 FAX 03(5687)2903 URL <http://www.fukuho.info/> メール mail@fukuho.org

